

### 基礎断熱型枠の優位性PR

省エネ新時代のベタ基礎断熱システム『タイト・モールド工法』による断熱材の優位性をPRする見学会が開く

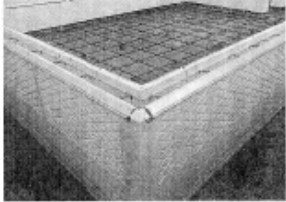
省エネ新時代のベタ基礎断熱システム『タイト・モールド工法』による断熱材の優位性をPRする見学会が開く。この見学会は、8月2日(土)八戸市田子町の現場で開催された。同見学会には、基礎断熱型枠工法、型枠を組立立ててコンクリートを打設する工法が紹介された。同見学会では、基礎断熱型枠工法、型枠を組立立ててコンクリートを打設する工法が紹介された。同見学会では、基礎断熱型枠工法、型枠を組立立ててコンクリートを打設する工法が紹介された。

なると、野本性や重なり、防湿性に優れる特長を持つ。特に型枠として使用する断熱材は、シロアリ対策としてホウ酸を混ぜて防湿処理されるほか、代理店でユニットを組み立てて現場に搬入されるため、作業の効率化も図られる見込みだ。

また、見学会を聞きつけた市民も基礎断熱工法の作業風景に興味深く見入っていた。沼津社長は「現場を実際に見てほしい」と話した。



組み立てられたユニットにより、作業の効率化を實現



組み立てが完了しコンクリート打設を待つ型枠

もの、基礎断熱に木造平屋建、延べ約138平方メートル(建築面積約117平方メートル)の二戸建て住宅で、方約の二戸建て住宅で、細からタイト・モールド組み立てまでを6日間で行った。作業を終えた後、施工性の良さを確認した。県内外から訪れた多数の建設会社や住宅会社の関係者は、工事現場を隔てた見学会ならではの、優れた施工性や断熱性能、万全の防湿対策、工期短縮などを堪能できた。同工法の特長を詳しく説明した。また、見学会を聞きつけた市民も基礎断熱工法の作業風景に興味深く見入っていた。沼津社長は「現場を実際に見てほしい」と話した。

問い合わせは、御沼栄工業(北郡おいらせ町) 電話 0178-0212823

東後谷地3052 電話 0178-0178-102

ファクス0178-102

「おいらせ」